

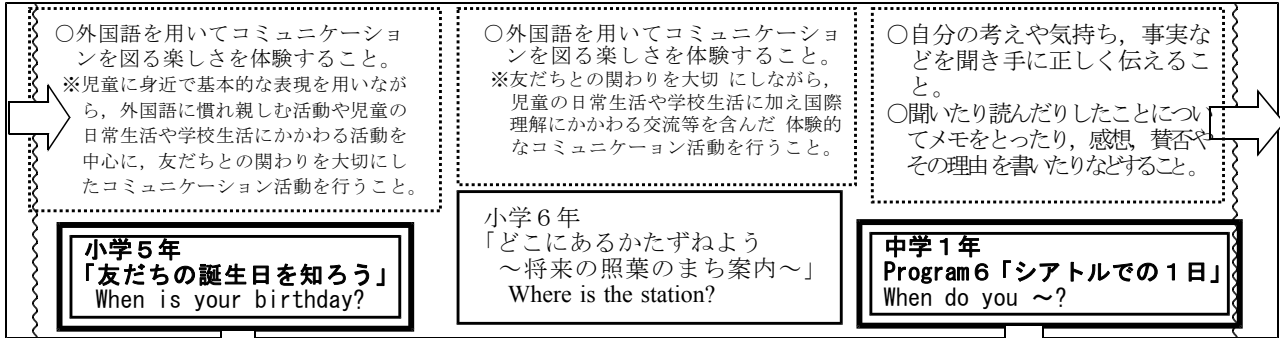
小学校第5学年 外国語活動・中学校第1学年 外国語科共通学習指導案

- 1 単元名 小学校第5学年…「友だちの誕生日を知ろう」
中学校第1学年… Program 6 「シアトルでの1日」

2 5か年の教科の到達目標

- 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

3 実践する単元の系統



4 目標

小学校5年	中学校1年
<ul style="list-style-type: none"> ○ お互いの誕生日や誕生にまつわる家族からのメッセージを積極的に伝え合う。 ○ 誕生日がかけがえのないものであることを理解し、一人一人が大切な存在であることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習表現と関連づけながら英文を聞き、内容を正しく把握することができる。 ○ when を用いたインタビュー活動に積極的、意欲的に取り組む。

5 児童生徒の実態

<p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語を使ったゲームなどの体験活動に積極的に取り組んでいる。 ○ 活動の楽しさに終わりがちで、英語やジェスチャー等を使ってコミュニケーションを図り合うよさやコミュニケーションをつなぐ方法を意識するまでに至っていない。 	<p>生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎英単語テストやパターンプラクティスなどの、基礎・基本的な内容を身につける活動に積極的に取り組んでいる。 ○ 既習表現と関連づけて考え、新出表現の使用場面や有用性を理解して、意欲的に言語活動に取り組むまでには至っていない。
--	---

6 指導上の課題と手立て

<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語を使った体験活動のめあてを意識しないまま活動に入ったり、友達とコミュニケーションを図るよさや身に付けたコミュニケーション力を次に生かしたりすることができるような振り返りの活動を効果的に位置付けていない。 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 既習表現と比較しながら新出表現の意味をつかむなどして、生徒が自らめあてを導き出し、意欲的に学習に取り組むことができるような導入の工夫ができていない。
<p>【手だて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 導入の段階で、児童自身が本時のねらいを意識して活動できるような伝え合い方の工夫を確認させ、活動中にその視点に沿って振り返らせる。 紹介する(比較する) ○ 活動のまとめの段階で、導入時の視点に沿って本時を振り返り、コミュニケーションのよさやコミュニケーションをつなぐ方法を確かめる活動を行う。 記録する(総合する) 	<p>【手だて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 導入の段階で、前時に学習した内容と関連付けて考え、違いに気付かせるなどして、生徒が自らめあてを導き出すための指導の工夫を行う。 聴き取る(関連付ける) ○ 最後の振り返りで、めあての達成度を確認し、自分の成長した点や課題を見つめ、次時の学習への意欲付けとなるような活動を行う。 記録する(総合する)

7 共通指導計画（小学5年…4時間 中学1年…8時間）

主な学習活動・内容	言語活動に関する手立て等	主な評価規準
<p>小学5年</p> <p>「友だちや先生に英語であいさつをしよう」 ㊦英語ノート1 L1・L2 ○ 挨拶のマナーに従い、友だちや先生と挨拶をして自分の名前を言ったり、ジェスチャーをつけて自分の気持ちを伝え合う。 振り返り 紹介する（比較する） ◎ 使用表現：What's your name? My name is ~. Nice to meet you. How are you? I'm ~. 等</p> <p>「自己紹介をしよう」 ㊦英語ノート1 L4 ○ 好きなものを伝えたり尋ねたりして、自己紹介をし合う。 振り返り 情報交換する（比較する） ◎ 使用表現：Do you like apples? Yes. No. I like bananas. What foods do you like? 等</p> <p>「欲しいものを伝えよう」 ㊦英語ノート1 L6 ○ 自分の好みやほしいものを伝えたり、友だちの好みやほしいものを尋ねたりする。 振り返り 紹介する（比較する） ◎ 使用表現：I don't like ~. What sports/colors do you like? What do you want? ~, please. I want ~. 等</p> <p>「友だちの誕生日を知ろう」（本時） ㊦英語ノート2 L3 ○ お互いの誕生日や家族からのメッセージを伝え合い、誕生日の意味について考える。 ◎ 使用表現：When is your birthday? My birthday is March 3rd. That's nice. 等 1 学習のかまえをもつ。（What's new?） 2 本時のめあてをつかむ 【Aim】誕生日や家族からのメッセージを工夫して伝え、誕生日について考えよう。 3 コミュニケーション活動をする。 ○ 誕生日や家族からのメッセージを伝え合う。 振り返り 紹介する（比較する） 4 めあてに沿って、本時の活動を振り返る。 振り返り 記録する（総合する）</p>	<p>言語活動に関する手立て等</p> <p>○ インタビュー活動で、伝え方を比べ合い、友達の良いところを取り入れ、自分の伝え方を工夫させる。</p> <p>○ Show&Tell に向けた練習過程で交流の場を設け友達の良いところを取り入れて伝え方を工夫させる。</p> <p>○ 友だちの発表の仕方を比べ合い、よさを取り入れ、自分の発表を工夫させる。</p> <p>○ 伝え方のよい児童を紹介し合い、自分と比べ、よさを生かすよう助言する。</p> <p>○ めあてとつないで活動をふり振り返り、次時の活動に生かすよう助言する。</p>	<p>主な評価規準</p> <p>※ 相手の話をよく聞き、アイコンタクトをとって話す。（全単元で）</p> <p>○ マナーやジェスチャーを取り入れて挨拶をし簡単な会話をしようとする。</p> <p>○ 積極的に自分の好きなものを伝えたり相手の好きなものを尋ねたりしようとする。</p> <p>○ 積極的に自分の好き嫌いをはっきり伝えたり、相手のほしいものを聞こうとしたりする。</p> <p>○ 積極的に友達に誕生日を尋ねたり、自分の誕生日を答えたりすることができる。</p> <p>○ 友達の家族からのメッセージを真剣に聞いて、誕生日の意味を考えようとする。</p>
<p>小学6年</p>		
<p>「あいさつをして相手のことを聞いてみよう」 ○ 既習の言い方出身地、家族、ペットなどを加えて自己紹介し合い、友達同士でさらに知り合う。 ◎ 使用表現：既習表現、This is my family/pet. Where are you from? I'm from ~. How old are you? I'm 12. 等</p> <p>「どこにあるかたずねよう～将来の照葉のまち～」 ○ どこにあるかを尋ねたり、場所を教えたりして、「将来の照葉のまち」を案内する。 ◎ 使用表現：Where is the station? Go straight. Turn right/left. 等</p>		

主な学習活動・内容	は主な導入場面	言語活動に関する手立て等	主な評価規準
<p>中学1年 Program3 「シンガポールからのお客さん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一般動詞を用いて自己紹介文を作成し、発表する。 ○ Do you ～? の疑問文とその応答を理解し、お互いのことについて対話をする。 ○ What の疑問文を正確に理解し、お互いの好きなものについて対話をする。 			
<p>中学1年 Program6 「シアトルでの1日」</p>			
<p>Section 1</p>			
<p>1 既習表現と新出表現が含まれた英文を聴いて、新出文法事項を確認し、口頭練習や練習問題に取り組む。</p> <p style="text-align: center;">導入 聴き取る (関連付ける)</p> <p>2 家族や友人、有名人等から一人選び、その人物を紹介する文を書く。</p> <p>3 グループ内で他己紹介文を発表し合い、お互いの情報をメモしておく。</p> <p>4 本文の内容を確認して、音読練習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英文を聴かせ、主語が三単現の場合は動詞に(e)s がつくことに気付かせる。 ○ 辞書指導や未習の一般動詞を導入し、書くことへの意欲を高める。 ○ 目線や声の大きさ、等に気をつけて話すよう指示する。 ○ ピクチャーチャートを用いて生徒が場面を想像しやすいようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主語が三単現の場合の動詞の変化を聴きとることができる。 ○ 三単現(e)s を適切に用いて紹介文を書くことができる。 ○ うなづき、メモをとるなど、相手の話に関心をもっている。 ○ 由紀とアンディーの会話文の内容を理解している。 	
<p>Section 2</p>			
<p>1 既習表現と新出表現が含まれた英文を聴いて、新出文法事項を確認し、口頭練習や練習問題に取り組む。</p> <p style="text-align: center;">導入 聴き取る (関連付ける)</p> <p>2 Does ～? を用いて自分の紹介文についてたずねる文をつくる。</p> <p>3 作成した疑問文を用いてインタビュー活動を行う。</p> <p>4 本文の内容を確認し、音読練習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会話文を聴かせ、主語が三単現の場合、疑問文では does が用いられていることに気付かせる。 ○ 文のなかに does があるときは動詞が原形になることを再度確認する。 ○ 話すことへの意欲を高めるために、会話で使用されるつなぎ言葉を紹介する。 ○ 3人組をつくってロールプレイをさせ、何組か発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主語が三単現の場合の疑問文や否定文における助動詞の変化を聴きとることができる。 ○ Does ～? を適切に用いて質問文を書くことができる。 ○ つなぎ言葉を用いるなどして、会話を続けようとしている。 ○ 適切な声の大きさや速さで役になりきって話している。 	
<p>Section 3 (本時)</p>			
<p>1 既習表現と新出表現が含まれた英文を聴いて、新出文法事項を確認し、口頭練習や練習問題に取り組む。</p> <p style="text-align: center;">導入 聴き取る (関連付ける)</p> <p>2 ALT のスケジュール表を完成させるインフォメーションギャップを行う。</p> <p>3 本文の内容を確認し、音読練習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な疑問詞が用いられた会話文を聴かせ、前後の関係から when の意味に気付かせる。 ○ それぞれの情報は異性にもたせ、男女でかたまらないようにする。 ○ 活動のポイント(目線、声、よく聴く)を示す。 ○ 個人読みやペア読み、通訳読みなど様々な形態で音読練習をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習表現と関連付けながら英文を聴き、内容を正しく把握することができる。 ○ when を用いたインタビュー活動に積極的、意欲的に取り組んでいる。 ○ 正しい強勢、イントネーション等に注意して話すことができる。 	

8 小学校第5学年 組本時の指導について

(1) 本時 (4/4) 3Fランチルーム

(2) 本時の目標

- お互いの誕生日や家族からのメッセージを工夫して伝え合い、コミュニケーションの方法やよさを友達同士で取り入れようとする。
- 誕生日の意味の大切さを知り、それについて自分の思ったこと考えたことをまとめ、書いたり発表したりする総合的な力を身に付ける。

(3) 本時の展開

学習活動・内容	指導上の留意点		評価規準
	☐は言語活動を活性化させる手だて	HRT ㊦ ALT ㊤ JET ㊥	
<p>1 本時活動のかまえをつくる。</p> <p>(1) 一人ずつALTから「カード」をもらう。</p> <p>(2) ALTに近況を尋ね、内容を共有し、英語やジェスチャーなどで反応する。 Hello, ~sensei. What's new?</p> <p>(3) 日付の言い方をふり返る。 英語ノート2 Let's Chant ♪ Twelve Months ♪</p> <p>2 本時のめあてをつかむ。</p> <p>○ 本時のめあてを読む。</p> <p>【めあて】 誕生日や家族からのメッセージを工夫して伝え合い、誕生日について考えよう。</p> <p>○ 伝え方の工夫を発表する。 <伝え合い方のポイント> ①元気な声 ②アイコンタクト ③ジェスチャー ○ 本時の流れについて聞く。</p> <p>3 「家族のメッセージ・インタビュー」をする。</p> <p>(1) デモンストレーションに注目する。 【使用表現】 Hello~. When is your birthday? My birthday is ~. Look (at this). Messages (from my family). That's nice. Interesting!</p> <p>(2) 伝え合い方の工夫を確認する。</p> <p>○ 伝え方のポイントを付け加える。 ④コミュニケーションをつなぐ表現 Good. Pretty!.etc.</p> <p>(3) 「家族のメッセージ・インタビュー」をする。</p> <p>○ インタビューの後、サインをする。 ○ 5人サインをもらったら「5-1 Birthday Tree」に自分のカードを貼る。</p> <p style="text-align: center;">紹介する (比較する)</p> <p>4 今日の活動をふり返る。</p> <p>○ 振り返りカードを書き、発表する。 記録する (総合する)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・ アイコンタクトやジェスチャーに気がついたらよく伝わったので、これからも使ってみよう。 ・ みんなの家族のメッセージを聞いて誕生日は一人一人の大切な日だと分かった。</p> <p>○ ALTと担任のコメントを聞く。</p> <p>5 一人ずつ挨拶をして、ネームカードを返却する。 Thank you, ~sensei. See you next week.</p>	<p>○ コミュニケーションを大事にした反応をするように声をかける。</p> <p>○ ALTの話に、コミュニケーションをつなぐ表現で反応させる。</p> <p>○ 既習を振り返って伝え方の工夫を話し合い、めあての具体化を図る。(①②③)</p> <p>○ 本時の流れカードで活動の見通しをもたせる。</p> <p>○ ALT・JETとともに活動のデモンストレーションをしてみせ、活動への意欲を高める。</p> <p>○ ジェスチャーの具体例やコミュニケーションをつなぐ表現を伝え方のポイントに付け加えさせる。(④)</p> <p>○ 困ったときはHRTやALT、JETに手助けを求めさせる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">活動の途中で、伝え方のよい児童を紹介し、自分の伝え方と比べさせる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあてとつないで今日の活動をふり返り、カードに書いたものを発表し合い、次時の活動に生かすようにする。</p> <p>○ めあてにつないで児童の活動についてのコメントを伝える。</p> <p>○ マナーを大切にされた反応をするよう声をかける。</p>	<p>㊦ Eye-contact, Smile, Big voice, please. etc.</p> <p>㊦ Let's say 'Hello' to ~sensei, and ask 'What's new?'</p> <p>㊦ This is today's aim.</p> <p>㊦ Let's try ①②③.</p> <p>㊤ Find good points of your friends.</p> <p>㊦ Look at today's lesson.</p> <p>㊤ Now, we'll show you 'Interview-Game'. Look at us and listen carefully.</p> <p>㊦ Do you understand?</p> <p>㊦ Let's try ④.</p> <p>㊤ If you need help, say 'Help me!' and raise your hand.</p> <p>㊤ Are you ready?</p> <p>㊦ Let's start.</p> <p>㊤ Did you enjoy today's lesson?</p> <p>㊦ Did you find good point of your friend?</p> <p>㊦ Any volunteers?</p> <p>㊦ ~ sensei, How was today's class?</p> <p>㊤ Great! etc.</p> <p>㊦ Eye-contact/Smile/Big voice, please.</p>	<p>○ 元気な声・アイコンタクト・ジェスチャー、コミュニケーションをつなぐ表現などを使って、誕生日や家族のメッセージを伝えたり、真剣に聞いたりしている。(行動観察)</p>

9 中学校第1学年 組本時の指導について

(1) 本時 (5/8) 中学校1年 組 教室

(2) 本時の目標

- 既習表現と関連付けながら **when** を含んだ英文を聞き、内容を正しく把握することができる。
- **when** を用いたインタビュー活動に積極的、意欲的に取り組み、内容を聴き取りながら、整理する力を身に付ける。

(3) 本時の展開

学習活動・内容	指導上の留意点 □は言語活動を活性化させる手だて	評価規準
<p>1 あいさつ等をして、レディネスをつくる。</p> <p>2 会話文を聴き、めあてをつかむ。 (1) 既習の疑問詞に when を加えた会話を聴き、気づいたことを発表する。 聴き取る (関連付ける)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">物をたずねたいときには what, 人をたずねたいときには who, 場所をたずねたいときは where が使われ、時をたずねたいときには when が使われている。</p> <p>(2) 本時のめあてをつかむ。</p> <p>めあて _____ インタビュー活動に組み、when を用いた受け答えをマスターしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ Monthly English song を歌う。 ○ 今まで学習した内容と関連付けながら聞くよう指示する。 ○ when が用いられている疑問文の答え方に注目し、意味をとらえさせる。 ○ リスニングで用いた会話文を提示し、めあてを導き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習表現に関連付けながら英文を聞き、内容を正しく把握することができる。 (プリント)
<p>3 基本文とその答え方をノートに写し、口頭練習する。 When does your sister study? She studies in the morning on Sunday.</p> <p>4 A L T のスケジュール表を全員で完成させる。 (1) 説明を聞き、インタビューをする。 情報交換する (整理する)</p> <p>A: May I ask you a question? B: Sure. A: When does Matt play soccer? Do you know? B: Yes, I do. He plays it in the afternoon on Saturday. / I'm sorry, but I don't know. A: Thank you. See you.</p> <p>(2) 自分が担当する情報をカードに書き、黒板のスケジュール表に貼る。 (3) スケジュール表に関する when を含んだ質問に、英語で答える。 聴き取る (整理する)</p> <p>5 本時の学習を振り返り、まとめる。 記録する (総合する)</p> <p>6 次時の予告を聞き、あいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本文を絵を用いて説明することで、生徒に使用場面を想像させ、理解を促す。 ○ 曜日や月、季節の言い方と前置詞の使い方を復習する。 ○ あらかじめスケジュール表の空白を振り分けて担当を決めておき、一人一人に役割をもたせる。 ○ 自分のハンドアウトを相手に見せないよう注意する。 ○ それぞれの情報は異性にもたせ、男女でかたまらないようにする。 ○ 「Eye contact」「Big voice」「Listening well」に気をつけて活動させる。 ○ Cレベルの生徒のワークシートに活動のヒントを載せておく。 ○ 早く終わった生徒にはインタビュー結果を英文でまとめさせる。 ○ 前置詞や三単現の (e)s に注意し、英文で答えさせる。 ○ めあての達成度を確認し、今後の学習につなげられるようにする。 ○ Monthly English song を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ when を用いたインタビュー活動に積極的、意欲的に取り組んでいる。(様相)

